

# (参考) 国際学術情報流通基盤整備事業 (SPARC Japan)

## 問題点

日本の学術論文の約80%が海外雑誌に流出している。

日本の学術雑誌の国際的知名度が低く、国際的流通が不十分

インターネットの普及にもかかわらず電子ジャーナル化が進んでいない

電子ジャーナル化されている雑誌でも大学図書館等へのビジネスモデルができていない

## 支援内容

日本を代表する英文学会誌を選定

国際化支援、国際連携の推進

- ・編集・査読の国際化支援
- ・SPARC等海外機関との連携

電子ジャーナル化の支援

- ・編集工程の電子化支援
- ・J-STAGE等による電子ジャーナル発行支援

大学図書館への販売支援

- ・サイトライセンス契約の支援
- ・分野別パッケージ化の推奨

支援

連携



科学技術振興機構

国立大学図書館協会  
私立大学図書館協会

米国SPARC  
欧州SPARC

連携

国立情報学研究所  
National Institute of Informatics

国際学術情報流通基盤整備事業評議会

## 成果

生物系パッケージ  
UniBio Pressの誕生

大学図書館等との電子ジャーナル購読契約

数学系ジャーナルへの  
Project Euclidの紹介

学術コミュニケーション  
の革新

## 目標

一流の国際学術雑誌を育て、日本からの研究成果の海外発信を強化する

学協会の電子的出版活動の促進と日本の学術雑誌の国際的評価の確立